

## 第二部

# 中期事業計画 (2005年度～2007年度)

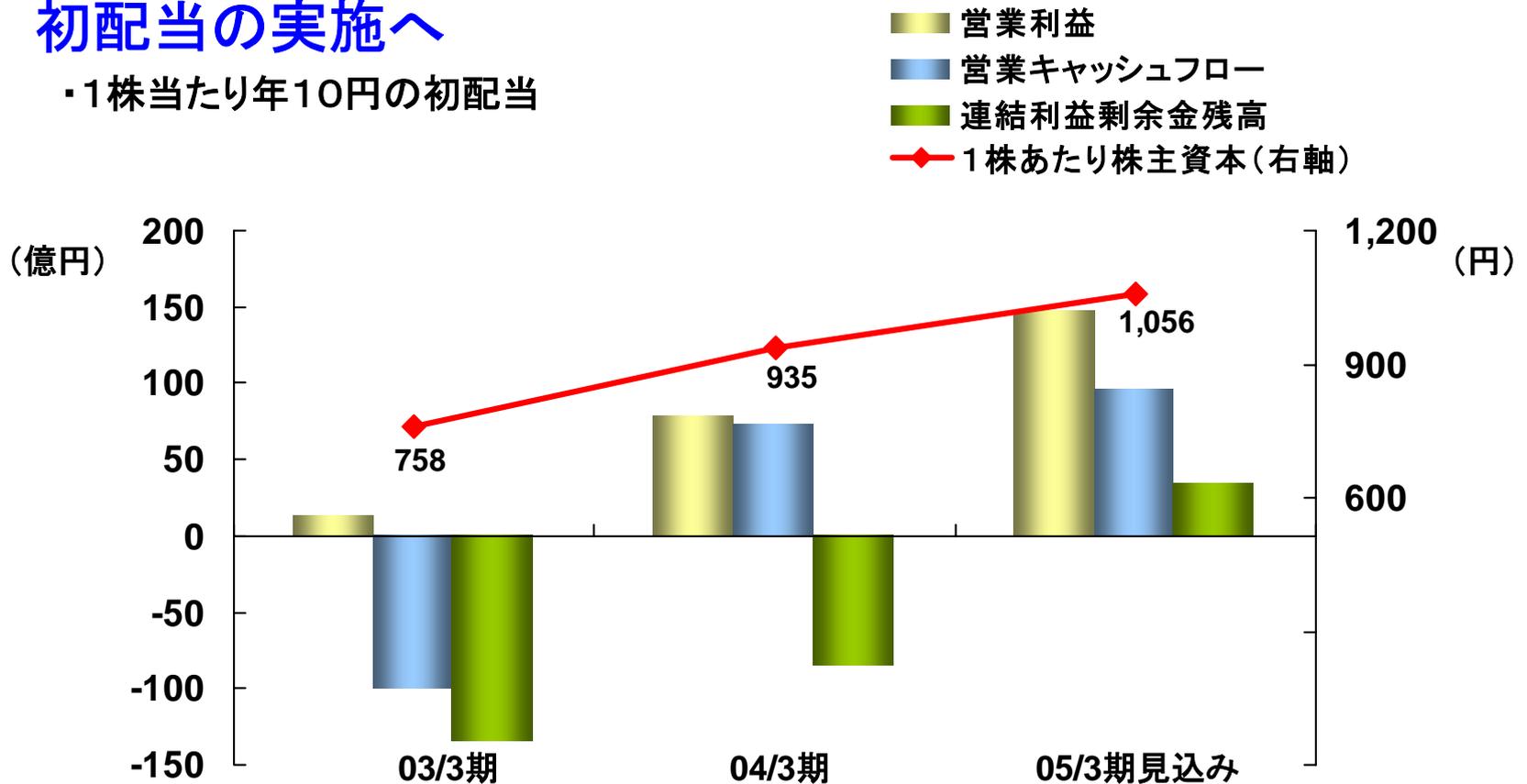
代表取締役社長 坂本 吉弘

## 統合後2年のグループ収益力・財務状況の改善

- ・ 営業利益/営業キャッシュフロー拡大
- ・ 利益剰余金の欠損解消
- ・ 1株当たり株主資本の増大

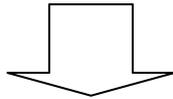
## 初配当の実施へ

- ・ 1株当たり年10円の初配当



## 中期事業計画(05～07年度)基本方針

- 将来への飛躍の基礎固めの3カ年
- 「収益基盤の安定化」と「積極的な投資」
- グループの一元的運営の強化



グループ企業価値向上を目指す

## 事業環境認識

- 増大する世界石油需要、産油国供給余力低下
- 原油価格、石化製品市況高値圏推移

## 「収益基盤の安定化」に向けた施策

- カフジ技術・経営管理サービス提供業務の維持、拡大
- 経営資源有効活用の観点からの既存プロジェクトの見直し
- 新規投資の積極的展開
- コア・エリア ⇒ 中東、北アフリカ、中央アジア地域
- 安定した収益構造追求 ⇒ ローリスク、早期資金回収・適正リターン案件

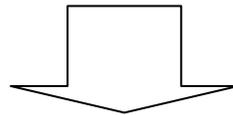
## 「収益基盤の安定化」に向けた施策

- 低コスト生産体制の維持・強化
- アジア地域を中心に高付加価値製品の販売拡大
- 白油(軽質油)増産・製品高付加価値化に向けた設備増強



## 「積極的な投資」展開

- 開発案件を中心とした新規プロジェクト発掘
- 自己資金120億円投入



07年度 原油換算生産量30千B/Dの達成

## 具体的案件

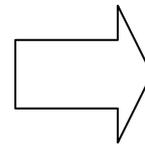
- 既発見油田・ガス田の開発案件
- 生産能力増強案件



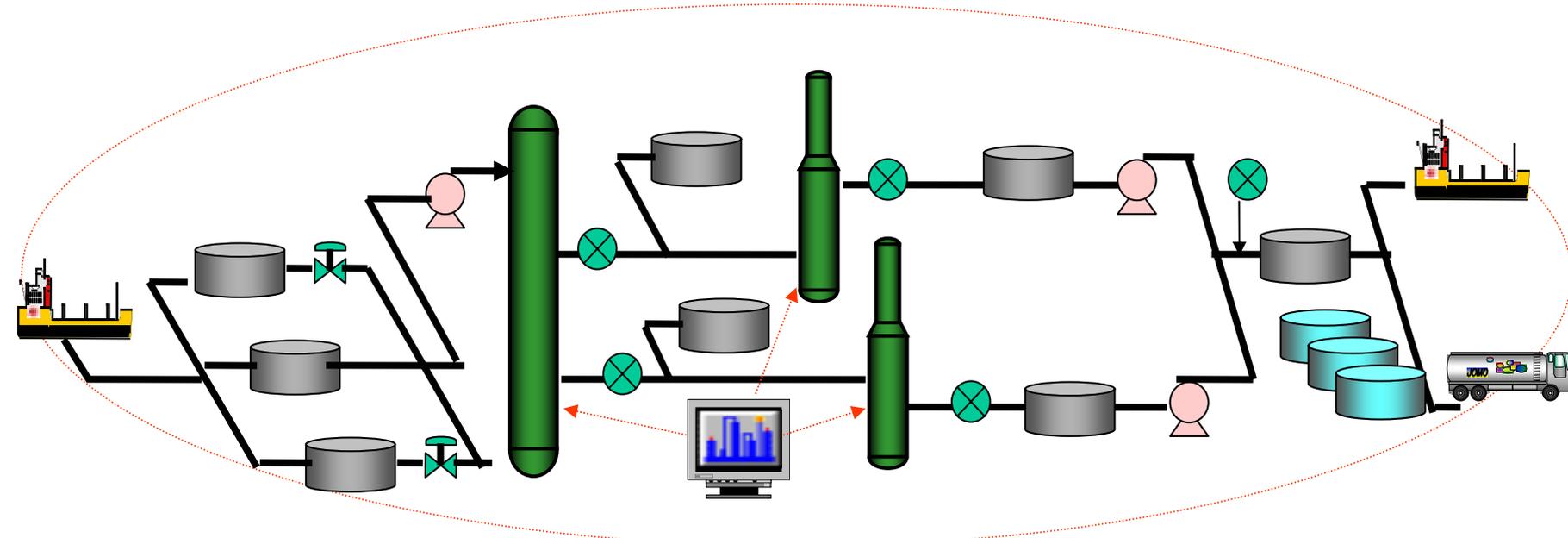
## 「積極的な投資」展開

市場動向に合致した既存設備能力増強投資 (既計画へ入)

- ① 軽油脱硫能力増強
- ② 接触改質装置能力増強
- ③ キシレン製造装置能力増強
- ④ 流動接触分解装置(FCC)効率化



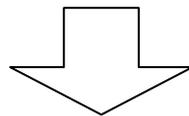
製品高付加価値化  
環境規制対応



(単位) 千バレル/日

	販 売 量		
	05年度	06年度	07年度
カフジ原油	45.0	65.0	85.0
フート原油	5.0	5.0	5.0
南海ミディアム原油	2.9	2.6	1.7
エコフィスク原油	1.0	1.1	0.9
原 油 計	53.9	73.7	92.6
既存プロジェクト原油換算生産量	3.9	3.7	2.6

既存プロジェクト原油換算生産量の減少傾向



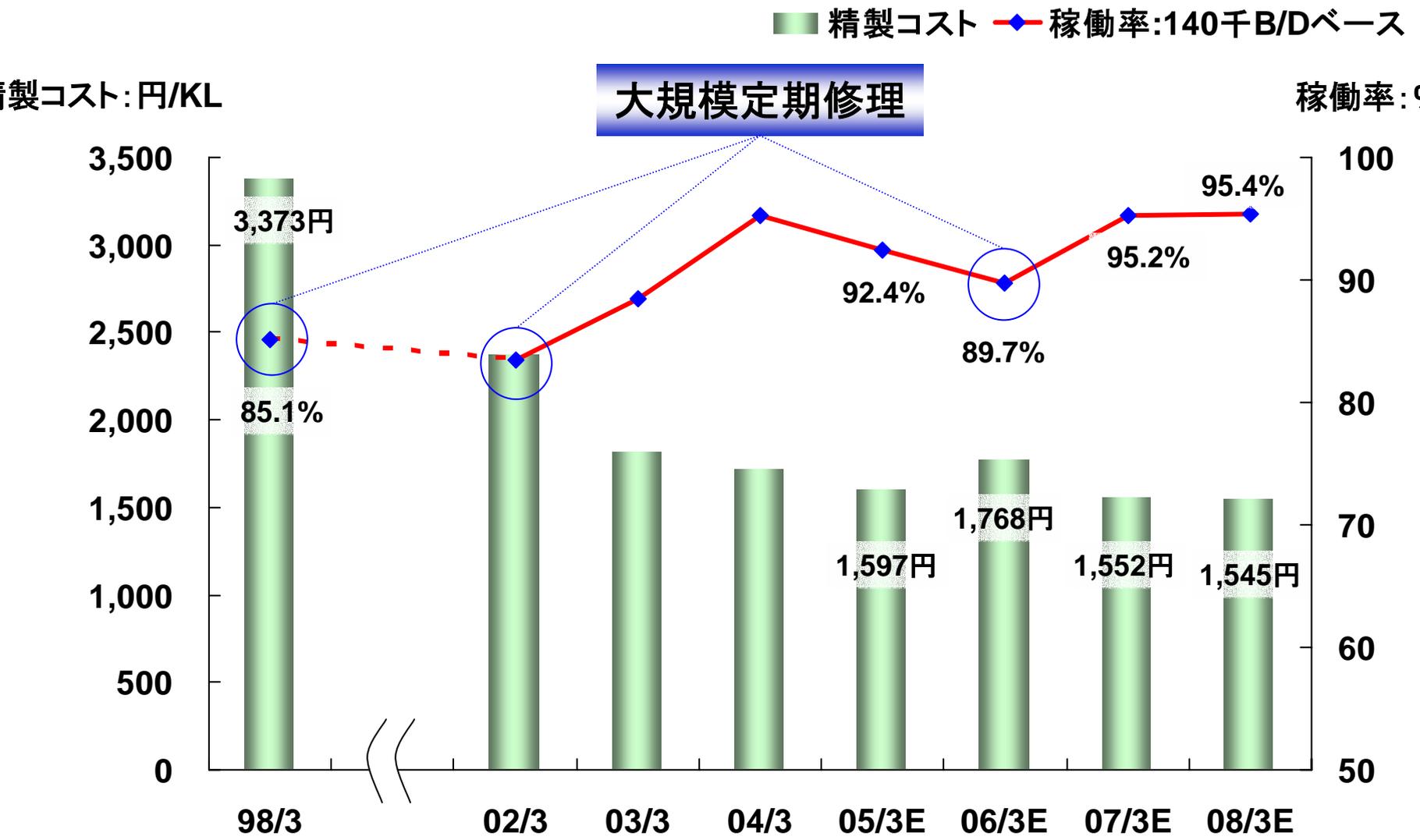
持続的成長に向けた新規案件への積極的な取組み  
(07年度 原油換算生産量30千B/D獲得)

(千KL)

	05年度	06年度	07年度
揮発油	1,630	1,700	1,703
ナフサ	362	392	405
ジェット	1,024	1,048	1,070
灯油	410	410	410
軽油	1,563	1,690	1,690
A重油	336	333	333
C重油	592	582	511
ベンゼン・キシレン	472	515	515
その他	583	620	642
小計	6,972	7,290	7,279
ジョイント・バター	477	494	551
合計	7,449	7,784	7,830
内、輸出量(除バンカー)	597	818	844
原油処理量	7,290	7,730	7,750

輸出拡販による高稼働率維持 ⇒ 「収益安定化」

# 製油所稼働率と精製コストの推移



(億円)

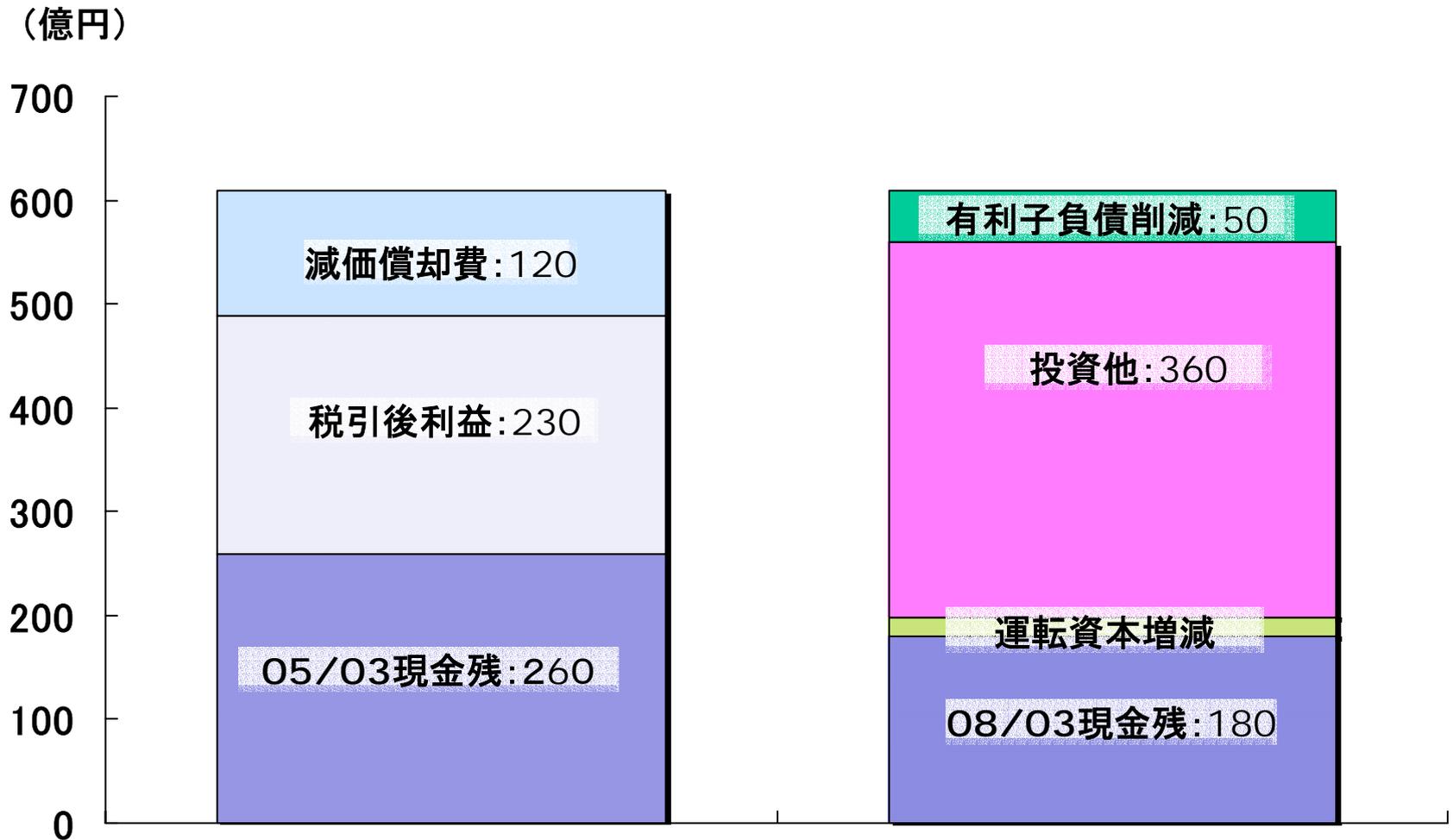
	05年度			06年度			07年度		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計
売上高	719	3,192	3,910	965	3,280	4,250	1,196	3,284	4,480
営業利益	36	75	111	33	98	131	18	96	114
経常利益	31	63	94	27	88	115	11	87	98

## 経営数値目標(07年度)

- 連結経常利益100億円+  $\alpha$  達成・維持
- 期末自己資本比率25%超の達成・維持

前提:

- ◆ 為替レート 110円/ドル
- ◆ 原油価格 32.50ドル/バレル (ドバイ)
- ◆ 新規上流投資に係る期待収益は含まず



(注) ・ アラビア石油とKGOCとの融資契約にかかわる資金収支は除く  
 ・ 投資他は、借入金で賄われる上流投資額を含む

## 当面の経営課題

### 上流事業

- 新規プロジェクト発掘と開発投資
- 石油開発会社に相応しい原油・ガス生産量の確保

### 下流事業

- 低コスト体質の維持、強化と付加価値向上投資
- 安定した収益確保

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



[www.aochd.co.jp/](http://www.aochd.co.jp/)

お問合せ先：

IRグループ 関川・粕谷まで